

フロイント産業株式会社

STANDARD

TOKYO

(証券コード6312)

2026年2月期 第2四半期 決算説明資料

2025年10月10日

2026年2月期 第2四半期
連結決算概況

連結決算サマリー

- 売上高 : 国内機械、米国子会社の出荷が順調に進み、2Qでは過去最高の売上。
- 営業利益 : 好調な売上により、営業利益も2Qでは過去最高。

※期初からの計画通り、今期下期は上期比で減益の見通し。主な要因は、国内機械が上期偏重、下期出荷予定の海外大型案件が低利益率など。通期で業績予想を上回る可能性はあるものの、上方修正を要するほどの大きな増益は見込んでいない。

(単位：百万円)	2025/2月期 第2四半期	2026/2月期 第2四半期	前年比増減		2026/2月期 予想
				%	
売上高	9,313	12,535	3,221	34.6%	24,500
営業利益	△131	1,343	1,475	—	1,500
経常利益	△96	1,387	1,484	—	1,500
親会社株主に帰属する 当期純利益	△118	896	1,014	—	1,000
一株純利益 (円)	△7.00	52.99	60.00	—	54.35

機械部門：グループ会社別動向（売上・営業利益）

フロイント産業	計画通りに出荷・納品できており、大幅増収。 売上の増加および前期一時費用の影響もなくなり、大幅増益。
フロイント・ターボ	売上は順調に推移し前年比増収。 自社製品の割合が増加し、営業利益も大幅増益。
FREUND Inc.	売上は順調に推移し前年比大幅増収。 2Qに高利益率案件の出荷が集中し、営業利益も大幅増益。
FREUND S.r.l.	売上は非常に苦戦した前年と比較すると増加もまだ不足。 赤字幅は縮小。

(単位：百万円) グループ会社別は連結調整前	2025/2月期	2026/2月期	前年比増減	
	第2四半期	第2四半期		%
売上高	6,115	9,205	3,090	50.5%
フロイント産業	3,746	5,273	1,526	40.8%
フロイント・ターボ	790	912	122	15.5%
FREUND Inc.	1,617	3,157	1,540	95.3%
FREUND S.r.l.	200	417	216	107.8%
営業利益	△75	1,098	1,174	—
フロイント産業	390	791	400	102.7%
フロイント・ターボ	47	153	106	224.8%
FREUND Inc.	△248	264	513	—
FREUND S.r.l.	△287	△121	166	—

機械部門：グループ会社別動向（受注高・受注残高）

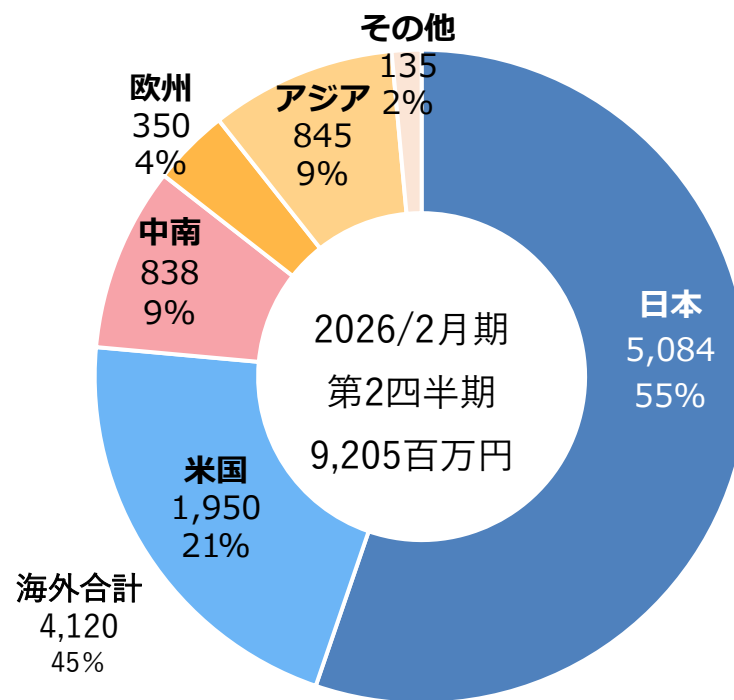
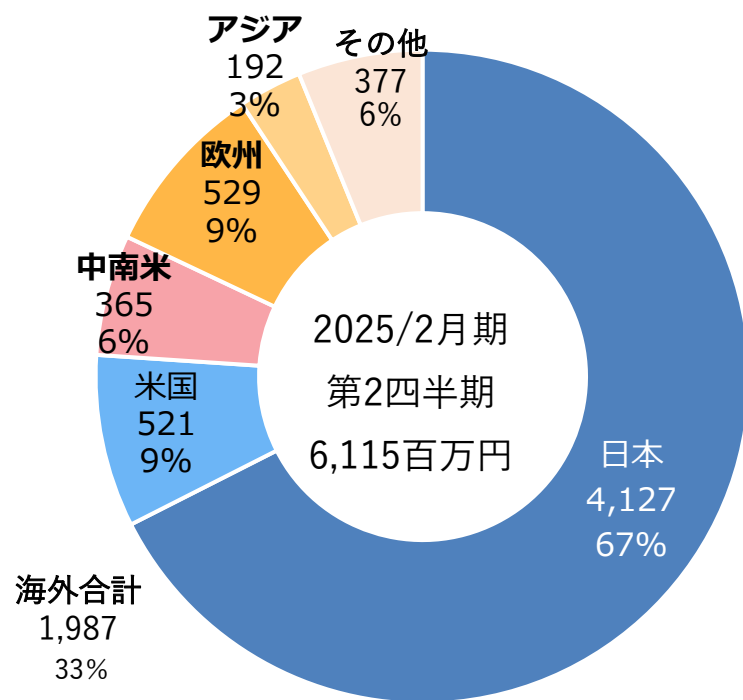
フロイント産業	受注高：医薬品不足解消に向けた引合いは好調。 受注残：売上が好調だったこともあり前年比減少。
フロイント・ターボ	受注高：案件の延期等もあり昨年に比べ鈍化。 受注残：前年比減少。
FREUND Inc.	受注高：好調であった前年に比べ鈍化。 受注残：高水準。今期後半、来期に向けて製造中。
FREUND S.r.l.	受注高：前年比増加も引き続きの積み上げが必要。 受注残：変化なし。今期後半の売上に向けて製造中。

(単位：百万円) グループ会社別は連結調整前	2025/2月期	2026/2月期	前年比増減	
	第2四半期	第2四半期		%
受注高	7,704	7,534	△169	△2.2%
フロイント産業	3,585	4,130	545	15.2%
フロイント・ターボ	819	681	△138	△16.9%
FREUND Inc.	2,760	2,160	△600	△21.7%
FREUND S.r.l.	693	942	248	35.9%
受注残高	17,430	15,398	△2,032	△11.7%
フロイント産業	10,905	8,260	△2,645	△24.3%
フロイント・ターボ	896	728	△168	△18.8%
FREUND Inc.	4,721	5,312	590	12.5%
FREUND S.r.l.	1,386	1,360	△25	△1.9%

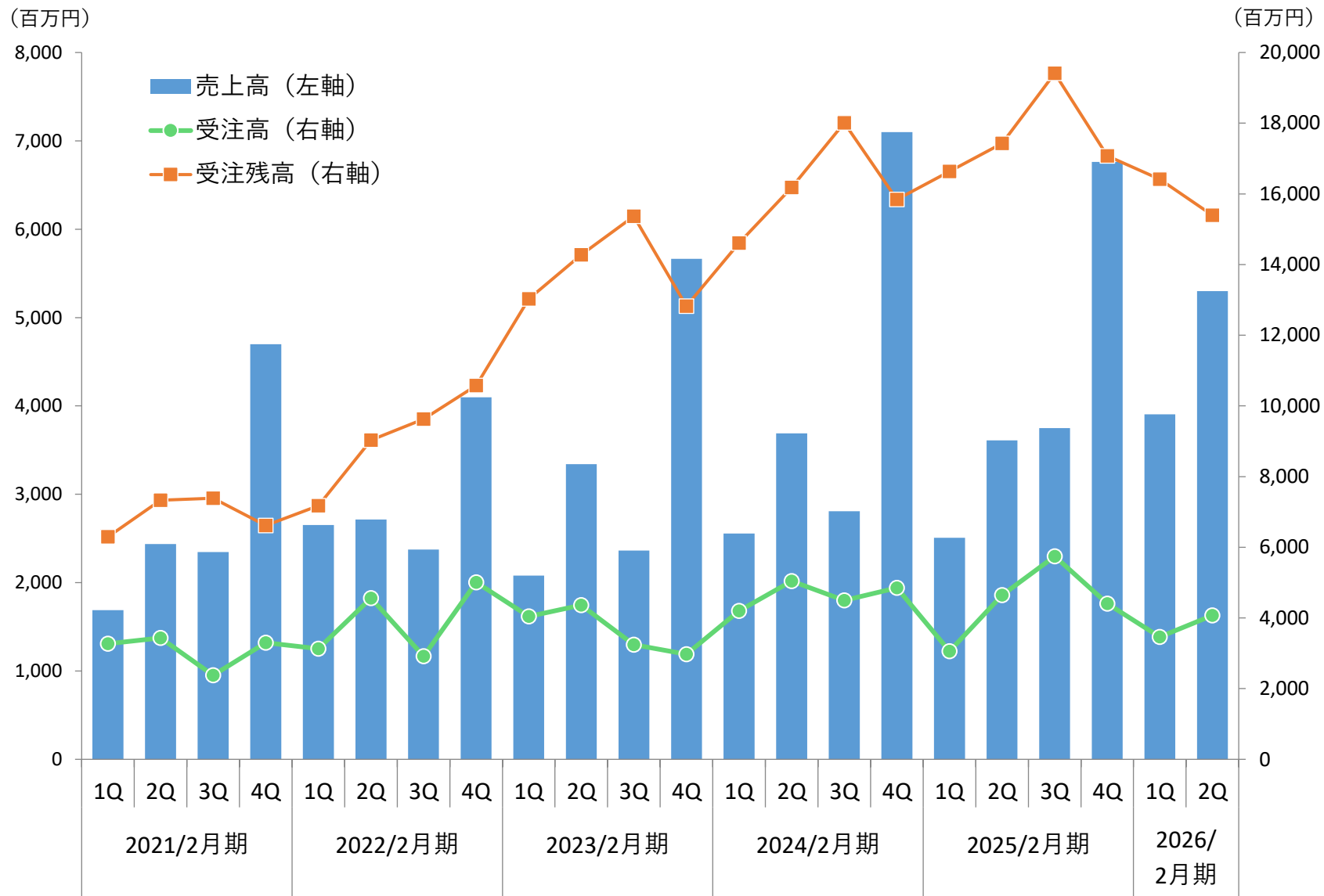
機械部門：地域別売上高

国内 受注案件の着実な出荷により、大きく増収。
下期は減少予定。

海外 米国・中南米・アジアが好調。
前年比倍増。



機械部門：四半期推移（売上高・受注高・受注残高）



化成品部門：概況

売上高

医薬品添加剤：大口ユーザーの一部製品の出荷調整が解消され前年比増収。

食品品質保持剤：前年比では減収となったが、計画通りに進捗。

営業利益

昨年発生した基幹システム更新に伴う一時費用が今期は無くなり売上も増加したことに伴い営業利益は増加。

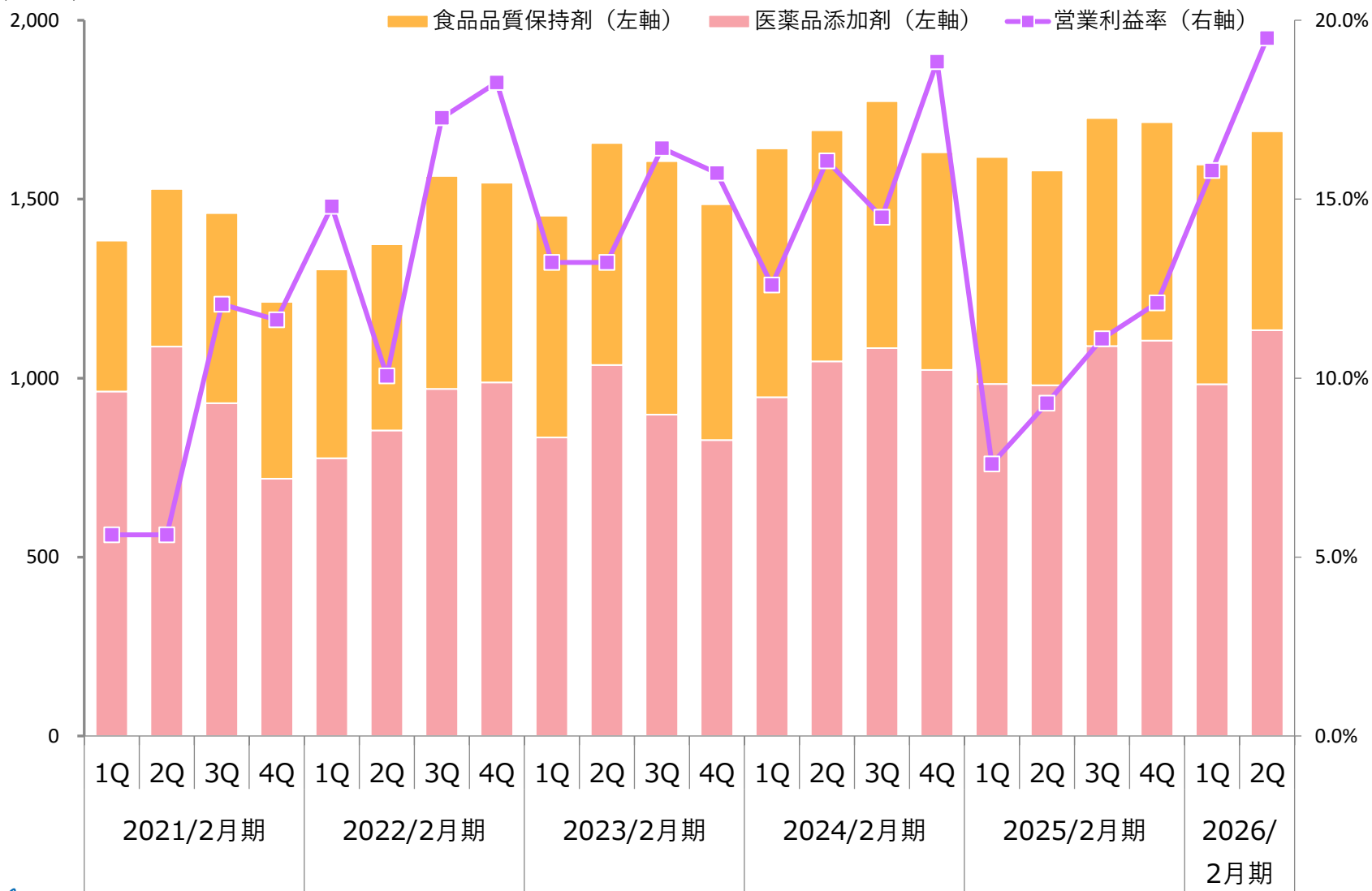
(単位：百万円)	2025/2月期 第2四半期	2026/2月期 第2四半期	前年比増減	
				%
売上高	3,198	3,330	132	4.1%
医薬品添加剤	1,964	2,159	195	9.9%
食品品質保持剤	1,234	1,170	△64	△5.2%
営業利益	299	589	290	97.2%

化成品部門：四半期推移（分野別業績）

【売上高】

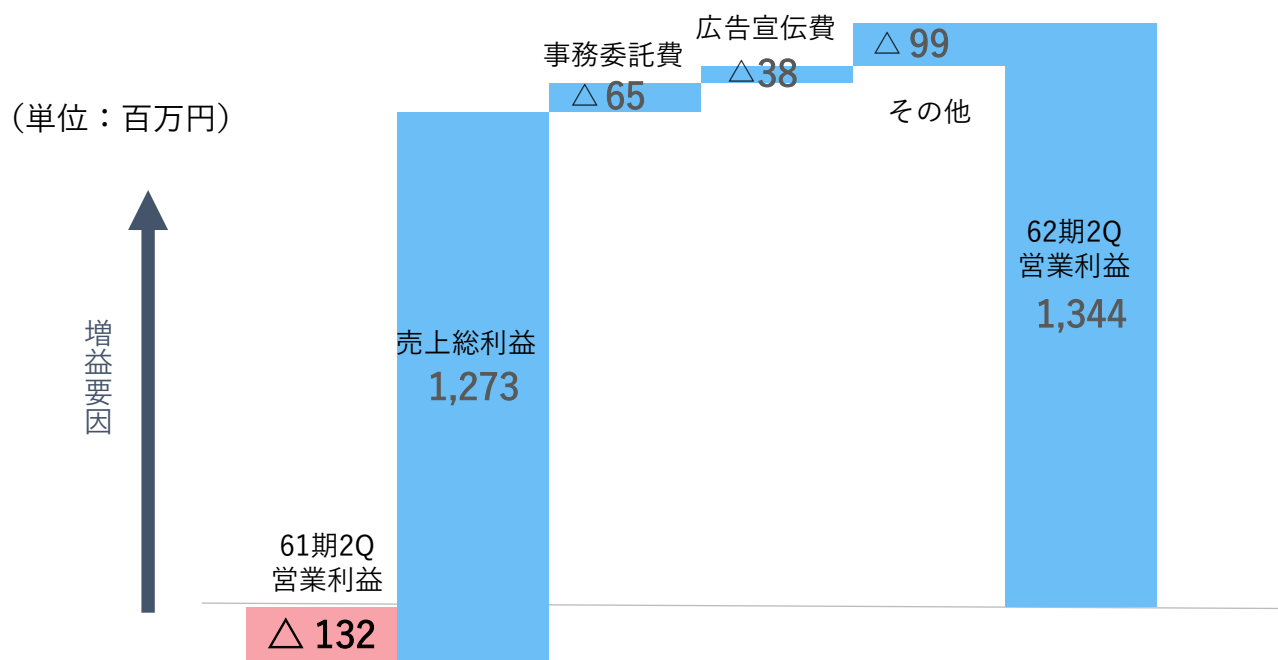
【営業利益率】

(百万円)



連結営業利益増減分析

- 売上総利益は主に国内・米国機械事業の売上増加に伴い、前年同期比で大幅増加。
- 前年の基幹システムの更新費用、海外展示会展示費用がなくなったことにより事務委託費・広告宣伝費が減少し、販売管理費は前年同期比約2億円の減少。



連結貸借対照表サマリー

- 売上債権の回収が進んだ一方で、米国子会社を中心に棚卸資産（仕掛品）が増加。
- 自己資本比率は57.9%と高水準を維持。

資産の部

(単位：百万円)	2025/2月末	2025/8月末	増減額
流動資産	19,648	20,659	1,010
現金及び預金	5,152	5,687	534
売上債権	6,226	5,758	△ 467
棚卸資産	7,515	8,402	887
その他資産	754	809	55
固定資産	6,910	6,690	△ 220
資産合計	26,559	27,349	790

負債・資本の部

(単位：百万円)	2025/2月末	2025/8月末	増減額
流動負債	10,411	10,814	402
仕入債務	3,104	3,074	△ 30
短期借入金	108	101	△ 7
契約負債	5,241	5,656	415
その他負債	1,956	1,982	25
固定負債	710	695	△ 14
純資産合計	15,437	15,839	402
負債純資産合計	26,559	27,349	790

連結キャッシュフロー サマリー

(単位：百万円)	2025/2月期 上半期	2026/2月期 上半期
営業キャッシュフロー	875	1,260
税引前利益	△ 100	1,378
減価償却費	318	323
売上債権の増減額 (△は増加)	1,672	451
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△ 1,702	△ 918
仕入債務の増減額 (△は減少)	△ 405	△ 13
契約負債の増減額 (△は減少)	1,149	440
法人税等の支払額	△ 292	△ 329
投資キャッシュフロー	△ 170	△ 239
有形固定資産の取得による支出	△ 144	△ 225
無形固定資産の取得による支出	△ 17	△ 11
財務キャッシュフロー	△ 389	△ 481
短期借入金	△ 3	△ 10
配当金の支払額	△ 335	△ 421
現金及び現金同等物 増減額	283	534
現金及び現金同等物 期末残高	5,020	5,687
フリー・キャッシュフロー	705	1,021

トピックス

MBOの実施及び応募の推奨に関するお知らせ

- 当社代表取締役である伏島巖が代表取締役を務める株式会社友（公開買付者）による、いわゆるマネジメント・バイアウト（MBO）の一環として行われる、当社発行済み株式に対する公開買付けを公表。
- 当社取締役会として本公開買付けに賛同するとともに本公開買付けに応募することを推奨することを決議。

※詳細は2025年7月14日付で開示しております「MBOの実施及び応募の推奨に関するお知らせ」及び2025年8月27日付、2025年9月29日付で開示しております『「MBOの実施及び応募の推奨に関するお知らせ」の一部変更について』をご参照ください。

2025年7月14日当社取締役会における決議内容

本公開買付けに関する決議事項

- ・ 本公開買付けに賛同する意見を表明
- ・ 当社の株主の皆様に対して、本公開買付けに応募することを推奨

本公開買付けが成立することを条件とした決議事項

- ・ 2026年2月期の配当予想を修正し、期末配当を行わないことを決議
- ・ 2026年2月期の株主優待の廃止

今後のスケジュール（予定）

買付等の期間

- ・ 2025年7月15日から2025年10月14日まで（61営業日）

買付等後の臨時株主総会

- ・ 2025年12月（予定）

新製品情報：AIによる付着抑制・流動化促進ソリューション「SONIFLO（ソニフロー）」

当社は、株式会社インダテック（本社：静岡県焼津市、代表取締役：石田尚）と協業し、付着抑制・流動化促進装置「SONIFLO(ソニフロー)」（以下「本製品」）の販売を2025年7月より開始しました。

本製品は既存の装置に設置可能な形体で、AIを用いてフィードバック制御を行いながら超音波振動を装置に与えることにより、内部への粉体の付着を抑え、流動性を大幅に向上させます。

これにより、製品の収率向上に加え、作業の自動化、品質の安定化・向上さらには作業者の安全性向上にも寄与します。従来、装置の外側を叩いて付着した粉を落とす作業（ハンマリング）や洗浄前の粉の掻き出し作業における負担を軽減し、医薬品や食品などをはじめとした粉体を扱う生産現場の課題解決をサポートします。

本製品の詳細については、以下のURLよりご確認ください。

<https://www.freund.co.jp/product/soniflo/>



SONIFLO イメージ画像

〈お問い合わせ先〉

フロイント産業株式会社

経営企画部

E-Mail : ir@freund.co.jp

当社IRサイトもご覧ください。 <https://www.freund.co.jp/ir/>

本資料には当社の計画、見通し、経営戦略および経営方針に基づいた「将来予測に関する記載」が含まれております。この「将来予測に関する記載」には発表日時点までに入手可能な情報に基づいた経営判断や前提が述べられております。そのため諸与件の変化により、実際の業績は「将来予測に関する記載」とは異なる結果となる可能性があります。

従って本資料における業績予想などの「将来予測に関する記載」が将来に亘って正確であることを保証するものではないことを、ご了解いただきますようお願い致します。なお、掲載内容について当社はあらゆる面から細心の注意を払っておりますが、それらには誤りやタイプミス等が含まれる可能性があります。